

2004年3月議会で市会議員3年目に入り、
組織替えが行われる。

民生環境常任委員会委員
青森地域広域事務組合議会議員
市民病院運営審議会委員
新幹線特別委員会委員
西部地区下水道期成同盟理事

初の民生環境常任委員会での議論は、「高齢者功労金条例」と「遺児入学祝金等支給条例」は市税の滞納者を対象から除く条例でした。私は、高齢者功労金は、長年にわたり社会の進歩に寄与してきた方の労をねぎうために設けられたという趣旨から言って制限すべきでない。両親がいない、または一人親家庭の子どもたちが対象となる遺児入学祝金等についても子どもの成長を祝うとともに、養育にあたってのご苦労に対して、その労をねぎらう意味がこめられているもので、長引く不況の中にあって、卒業や入学の費用にあてられるものだから制限をつけるべきでないと意見を述べて反対をしました。しかし、私を除く与党会派委員の賛成で2つの条例は採択されました。また、放課後児童会のおやつ廃止と3000円の負担金徴収についても、意見を述べて反対した委員は私ひとりでした。

2004年4月、消防議会のたびに廃止をすべきと質問を続けた警察からの天下りである消防専任助役が廃止される。

2月26日の衆議院災害特別委員会で、日本共産党の高橋ちづ子衆議院議員が新城中学校の改築について写真や明鏡欄にのった投稿文を示し『実態に合わせて優先的に採択してほしい』と質問し「市町村の意見は十分聞く」との答弁を引き出す。2003年6月議会で質問した新城中学校校舎の耐力度調査が決まる。（その後改築が決まる）

6月議会で、新城山田の10ヘクタールの無届、乱開発や戸門の新和生コンの事前着工に対する市の責任を指摘し、事前着工を許さない姿勢と指導を求める。

9月、12月議会で、有毒ガスが発生している県境産廃搬入の白紙撤回を求める。

観測史上4番目という豪雪に、春の農作業に支障がないように農道の除雪と融雪剤購入の助成を求める。状況把握に努めながら慎重に対応していくと答弁があったが、融雪剤の助成と『春よこい農道スクラム除雪』と称した除雪機の貸し出しが行われる。



田子の不法投棄現場を調査する館田市議



高橋千鶴子衆議院議員



改築が切望されていた新城中



県に質問状を出し、搬入撤回を求める



違反の地域に建てた生コン工場